

題材名 現代美術実践 ○○○になろう(絵画・立体・鑑賞)

○○○になったつもりで制作しよう

千葉県立富里高等学校 美術科 金澤安宏

対象学年 3学年 1学期～2学期

題材設定の理由

鑑賞も大切だと考えていたが、鑑賞の授業において、芸術家を紹介する場合、鑑賞のみで生徒の興味・関心を引き寄せることが困難な場合がある。それで、芸術家を紹介した後、その手法を実践させることで、その芸術家への理解・関心が深まると考えた。鑑賞と制作を融合させたいと思って考えた課題である。美術の概念くずしと概念拡大も目指している。現在、この題材名の中で、8つの課題を順次実践させている。3学年の1学期から2学期で実施している。

この授業で付けたい力・題材の目標

紹介した芸術家とその手法を、実践させることで、芸術家、さらに美術への理解・関心を深めさせ、美術作品の良さや、美しさを深く感じ取る力を、身に付けさせたい。さらに、そこから、発想する力、創造する力を、身に付けさせたい。多くの生徒が、制作前「簡単そうだ」と言う。(ピカソにしても、モンドリアンにしても、..)実際創ってみると、簡単ではないことが分かる。その芸術家が、独創的な発想で確かな技術で創作していたことが、体感できる。創造することの楽しさと同時に、芸術家の凄さも伝えられていると思う。

展開

ピカソになろう = ピカソになったつもりで自由に顔を描こう (2時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
アイデアスケッチを描く 下描きを描く 着彩 完成 感想記入	ピカソが描いた「顔」を少し見せた後、(多く見せると真似してしまう)自由に「顔」を描かせる。描画材料は何を使用しても良い。「今まで誰も描いたことが無いような描き方で描いてみよう。」などと、無理難題なことを呼びかける。 授業の最後にピカソが描いた様々な「顔」の資料を配付する。 生徒は驚くようである。	独自性 独創性

モンドリアンになろう = モンドリアンになったつもりで構成的絵画を描こう (8時間)

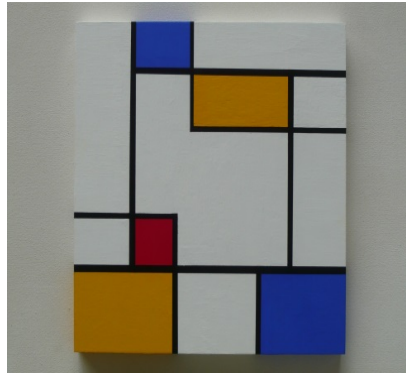
生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
鉛筆でアイデアスケッチを数枚描く。 その中から3点ほど着色する。 最も良いものをパネルに描き、着色 感想記入	モンドリアンの資料配付・解説。構成やバランスについて言及する。ジェッツで地塗りしたジャケット判パネルに描かせる。 マスキングテープを使いたい生徒には、使わせる。	構成や色彩の バランス 作業の丁寧さ

デュシャンになろう = デュシャンになったつもりでオブジェを創ろう (2時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
既製品(=素材)を選ぶ。 組み合わせる。 写真撮影 作品を解体する	様々の既製品を用意しておく。デュシャンの資料配付・解説。 次のような指示をする。「2つ以上の物を組み合わせること」 「物を日常とは違った組み合わせにすること」「組み合わせてその物から本来の用途を奪うこと」「見られるためだけに存在する物にすること」 そうすると「それはアートになるだろう」	写真撮影し、その 写真で評価。与えた条件を満たしているか。独創性。

コーネルになろう = コーネルになったつもりでBOX ARTを創ろう (8時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
アイデアスケッチを描く。 箱の中に様々の素材を構成して、BOX ARTを制作する。感想記入。	コーネルの資料配付、解説。テーマは自由。 中に入れる素材は各自で用意させる。 美術室で提供できる物は提供する。	独創性・創意工夫 作業の丁寧さ。



日比野克彦になろう = 日比野克彦になったつもりで段ボールでオブジェを創ろう (8時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
アイデアスケッチを描く 段ボールや画用紙でオブジェを創る。 着色する。	日比野克彦の資料配付、解説。「帽子」や「靴」など、創る物は自由にさせる。表面に、千代紙や英字新聞などを貼らせても良い。マスキングテープや木工ボンドなどで接着させる。	独創性・創意工夫 作業の丁寧さ。

高松次郎になろう = 高松次郎になったつもりで影の絵画を描こう (3時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
影の写真の基にして下描きを描く。 むら無く均一に着色する。 感想記入。	写真を基にしてジャケット判パネルに影の絵画を描かせる。 影を撮影した写真を各自持って来る様に前の週に指示しておく。数枚こちらでも準備しておく。 アクリル絵の具のニュートラルグレーで描かせる。	画面構成 均一に丁寧に着色しているか。

草間彌生になろう = 草間彌生になったつもりでオールオーバー絵画を描こう (3時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
アイデアスケッチを描く ジャケット判パネルに描く	草間彌生の資料配付、説明。ジャケット判パネルに描かせる。 何か自分が好きな形で、画面全体を埋め尽くす。 丁寧に着色させる。	独創性・創意工夫 作業の丁寧さ。

森村泰昌になろう = 森村泰昌になったつもりで「名画の中の私」を描こう (10時間)

生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価方法
美術室にある画集の中から、基にする絵を選ぶ。A3パネルに下描きを描く。 着色	森村泰昌の資料配付、説明。美術室にある画集の中から、自分が好きな絵を1枚選ばせる。その絵のどこかに自分の顔を組み入れさせる。丁寧に着色させる。	独創性・創意工夫 作業の丁寧さ。



指導上の留意点

実践させる芸術家を選ぶ基準

- ①生徒でも実践可能な手法であること。

- ②生徒が興味・関心を抱きそうな手法であること。
- ③美術の面白さ・楽しさを味わえそうな手法であること。
- ④生徒の美術概念を拡大させるような手法であること。
- ⑤美術史の中で、また、生徒にとっても、意義のある手法であること。

制作させる際の留意点

- ①その手法に縛り付けないこと。
例えばモンドリアンを実践させる際、「緑色を使いたい」と生徒が言ったら使わせてもかまわない。
- ②各課題の最後に必ず感想を記入し、提出させる。

観点別評価

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造的活動の喜びを味わい、美術の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	美術の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な美術表現をするために、基礎的な能力を生かし効果的な表現の技能を身に付け、表現している。	日常生活の美術の効用、美術の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、美術の良さや美しさを創造的に、味わっている。

生徒の声

簡単そうだと思っていたけど、やってみたら難しくて、ピカソは、やはり凄いと改めて感じた。
 風景を描く中から、この幾何学的抽象を考え出したモンドリアンは凄い。
 絵を描いたり、色を塗ったりするだけが美術じゃないんですね。
 箱の中にアイデアを文字通り詰め込んで、自由な世界を創れて、楽しく作業が出来た。